

平成26年2月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成25年10月11日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 山陽百貨店
 コード番号 8257 URL <http://www.sanyo-dp.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高野 勝

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画統括部長 (氏名) 岩野 誠

TEL 079-223-1231

四半期報告書提出予定日 平成25年10月15日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年2月期第2四半期の連結業績(平成25年3月1日～平成25年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第2四半期	9,675	0.1	66	55.6	92	41.0	59	33.9
25年2月期第2四半期	9,669	1.6	149	4.4	156	8.3	89	99.7

(注) 包括利益 26年2月期第2四半期 64百万円 (26.1%) 25年2月期第2四半期 86百万円 (111.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
26年2月期第2四半期	73.75	
25年2月期第2四半期	111.62	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年2月期第2四半期	12,895	1,256	9.7
25年2月期	13,544	1,192	8.8

(参考) 自己資本 26年2月期第2四半期 1,256百万円 25年2月期 1,192百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
25年2月期				0.00	0.00
26年2月期					
26年2月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年2月期の連結業績予想(平成25年3月1日～平成26年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	19,742	1.1	227	36.9	258	33.3	189	28.3	236.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

26年2月期2Q	810,000 株	25年2月期	810,000 株
26年2月期2Q	6,973 株	25年2月期	6,973 株
26年2月期2Q	803,027 株	25年2月期2Q	803,179 株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、平成25年7月11日に公表いたしました平成26年2月期の業績予想を修正しております。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)P.3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) セグメント情報等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成25年3月1日～平成25年8月31日）における国内経済は、政府による経済再生実現への各種政策の動きを背景として、個人消費や企業業績等が回復基調で推移いたしました。

百貨店業界におきましては、個人消費の持ち直し傾向の中で、宝飾品・美術工芸品などの高額商品が売上を牽引し、大都市圏の百貨店での売上は好調に推移しましたが、地方都市の店舗におきましては、その動きは一部に限られ、依然として厳しい商況が続いております。

このような状況の中、当社グループは中期経営計画（平成23年度～平成25年度）の最終年度を迎え、そのビジョンに掲げる「日本一生き生きとした百貨店」の実現に向け、さらなる取り組みの強化に努めるとともに、開店60周年の特別企画として各種の営業施策を展開してまいりました。

営業面では、JR姫路駅前に開業した大型商業施設への対抗策の一環として、商品力の強化と店舗環境の整備に引き続き注力してまいりました。具体的な取り組みといたしましては、まず、1階山陽姫路駅エントランスに路面店として人気の「ベルギーワッフルマネケン」を導入したほか、改修工事のため約2年間閉鎖されていた地下商店街の再オープンにあわせて地階エントランスを明るい装いにリモデルし、お客さまの誘引力強化に努めました。5階生活雑貨フロアにおいては、売場の配置替えを中心とした改装を行い、お客さまがより見やすく選びやすい環境に見直しを行うとともに、「姫路ロフト」の売場面積を拡大し、品揃えの充実を図りました。美術催事といたしましては、日本を代表する彫刻家である流政之、日本画の浜田泰介など有名作家の個展を開催し、大きな成果を上げることができました。6階催事会場では、バックヤードを転用して売場を拡大し、第二会場として各種催し物に活用しました。また、夏期の恒例となった屋上ビアガーデンでは例年以上に多くのお客さまからご支持をいただきました。

経費面におきましては、政策的に実施した開店60周年企画及び競合店対策経費や改装経費の増加を賄うべく、照明器具のLED化を推進して光熱費の節減を図るなど、限られた経営資源の中で効率的な運用に努めました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は9,675百万円（前年同期比0.1%増）となりましたが、連結営業利益は66百万円（前年同期比55.6%減）、連結経常利益は92百万円（前年同期比41.0%減）、連結四半期純利益は59百万円（前年同期比33.9%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ649百万円減少し、12,895百万円となりました。これは主に、借入金の返済による現金及び預金の931百万円減少に対し、季節要因による受取手形及び売掛金の161百万円増加、無形固定資産の38百万円増加等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ713百万円減少し、11,639百万円となりました。これは主に、返済による借入金の935百万円減少に対し、季節要因による支払手形及び買掛金の70百万円増加等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ64百万円増加し、1,256百万円となりました。これは主に、四半期純利益による利益剰余金の増加59百万円によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ931百万円減少し、673百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は212百万円となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益83百万円、減価償却費152百万円、仕入債務の増加70百万円、前受金の増加105百万円等による収入に対し、売上債権の増加161百万円、法人税等の支払額60百万円等による支出によるものであり、前年同四半期連結累計期間に比べ190百万円収入減となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は209百万円となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出188百万円、無形固定資産の取得による支出18百万円等によるものであり、前年同四半期連結累計期間に比べ159百万円支出増となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は935百万円となりました。これは主として、短期借入金の純減100百万円、長期借入金の返済835百万円の支払があったことによるものであり、前年同四半期連結累計期間に比べ39百万円支出増となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

本日公表の「平成26年2月期第2四半期累計期間における業績予想値と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」において、平成25年7月11日付「平成26年2月期 第1四半期決算短信」において公表いたしました平成26年2月期の業績予想を修正いたしましたのでご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,604,841	673,455
受取手形及び売掛金	587,896	749,172
有価証券	699,734	699,916
商品	925,050	944,171
貯蔵品	21,089	21,594
繰延税金資産	16,762	16,825
その他	127,740	166,306
貸倒引当金	△56	△80
流動資産合計	3,983,059	3,271,363
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,886,805	3,837,027
土地	4,724,084	4,724,084
その他(純額)	205,659	270,451
有形固定資産合計	8,816,549	8,831,564
無形固定資産	119,488	157,972
投資その他の資産		
投資有価証券	91,597	102,487
繰延税金資産	12,409	12,409
差入保証金	468,198	468,078
その他	69,351	67,084
貸倒引当金	△15,698	△15,299
投資その他の資産合計	625,858	634,760
固定資産合計	9,561,895	9,624,297
資産合計	13,544,955	12,895,661
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,841,275	1,911,744
短期借入金	1,770,000	1,500,000
未払法人税等	66,516	30,204
前受金	2,028,000	2,133,016
商品券	1,431,415	1,450,949
賞与引当金	14,623	13,914
商品券回収損引当金	278,500	279,500
その他	540,462	609,824
流動負債合計	7,970,792	7,929,153
固定負債		
長期借入金	3,950,000	3,285,000
繰延税金負債	7,807	10,572
退職給付引当金	262,455	259,977
その他	161,808	154,722
固定負債合計	4,382,070	3,710,272
負債合計	12,352,863	11,639,425

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	405,000	405,000
資本剰余金	7,554	7,554
利益剰余金	780,311	839,532
自己株式	△14,986	△14,986
株主資本合計	1,177,879	1,237,100
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,212	19,134
その他の包括利益累計額合計	14,212	19,134
純資産合計	1,192,092	1,256,235
負債純資産合計	13,544,955	12,895,661

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
売上高	9,669,898	9,675,512
売上原価	7,556,086	7,590,357
売上総利益	2,113,812	2,085,155
販売費及び一般管理費	1,964,672	2,018,911
営業利益	149,140	66,243
営業外収益		
受取利息	570	539
受取配当金	1,753	2,009
受取家賃	19,237	17,852
債務勘定整理益	69,777	67,041
その他	28,976	29,003
営業外収益合計	120,314	116,446
営業外費用		
支払利息	55,958	39,371
商品券回収損引当金繰入額	49,621	49,679
その他	7,130	1,161
営業外費用合計	112,710	90,212
経常利益	156,744	92,477
特別利益		
固定資産受贈益	—	2,600
特別利益合計	—	2,600
特別損失		
固定資産除却損	2,990	11,309
減損損失	436	—
特別損失合計	3,426	11,309
税金等調整前四半期純利益	153,317	83,768
法人税等	63,666	24,547
少数株主損益調整前四半期純利益	89,651	59,221
少数株主利益	—	—
四半期純利益	89,651	59,221

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	89,651	59,221
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△2,899	4,921
その他の包括利益合計	△2,899	4,921
四半期包括利益	86,751	64,142
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	86,751	64,142
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	153,317	83,768
減価償却費	142,528	152,805
減損損失	436	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△75	△375
賞与引当金の増減額(△は減少)	2,426	△709
退職給付引当金の増減額(△は減少)	24,567	△2,477
商品券回収損引当金の増減額(△は減少)	1,500	1,000
受取利息及び受取配当金	△2,323	△2,549
支払利息	55,958	39,371
固定資産受贈益	—	△2,600
固定資産除却損	281	3,801
売上債権の増減額(△は増加)	△20,007	△161,275
たな卸資産の増減額(△は増加)	2,501	△19,625
差入保証金の増減額(△は増加)	530	120
仕入債務の増減額(△は減少)	53,645	70,468
前受金の増減額(△は減少)	84,551	105,016
未払金の増減額(△は減少)	△36,788	66,320
未払消費税等の増減額(△は減少)	△16,440	△26,821
その他	121,871	6,651
小計	568,481	312,891
利息及び配当金の受取額	1,945	2,199
利息の支払額	△56,943	△41,743
法人税等の支払額	△109,817	△60,498
営業活動によるキャッシュ・フロー	403,666	212,847
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△47,613	△188,070
無形固定資産の取得による支出	—	△18,284
投資有価証券の取得による支出	△2,709	△2,878
その他	95	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△50,227	△209,233
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△140,000	△100,000
長期借入金の返済による支出	△755,093	△835,000
その他	△51	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△895,145	△935,000
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△541,707	△931,385
現金及び現金同等物の期首残高	1,542,383	1,604,841
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,000,676	673,455

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

当社グループの報告セグメントは、百貨店業単一であるため、セグメント情報の記載を省略しております。